

令和8年度 協働のまちづくり チャレンジ事業



募集の手引き



協働のまちづくり
チャレンジ事業

本事業に関するお問い合わせ・ 申請書提出先

金沢市役所 市民局 市民協働推進課
協働をすすめる市民会議事務局

受付時間 月～金曜日
午前9時00分～午後5時45分

連絡先 〒920-8577
金沢市広坂1-1-1
第一本庁舎2階
TEL：076-220-2026
FAX：076-260-1178
Mail：kyoudou@city.
kanazawa.lg.jp

提出方法

- スタート、一般、団体連携
郵送、電子メール、
または持参により提出
- 学生・高校生部門
市HPの申請フォームから
提出

目次

1. 部門、団体、事業要件とは？
2. 「未来共創計画」を押さえましょう
3. 審査基準と意識すべきポイント
4. 押さえよう！対象経費
5. 申請・審査のスケジュールについて
6. 申請書の書き方、
審査会・説明スライドについて



協働のまちづくり チャレンジ事業とは

NPO等の市民団体や町会等の地域団体、学生団体などから創意と工夫にあふれるまちづくり企画を提案していただき、市民と行政が協働してまちづくりに取り組みます。



協働とは？
を知りたかったら、[こちら](#)！
協働ハンドブックを読んでみて



協働のまちづくりチャレンジ事業 募集の手引き

1. 部門、団体、事業要件とは？

部門	スタート	一般	団体連携	学生・高校生
団体要件	<ul style="list-style-type: none"> ・主に金沢市内を活動の場としていること ・5名以上の活動メンバーで構成されていること ・団体の運営に関する規約等があり、適正な会計処理が行われていること ・原則、1年以上の活動実績を持つこと(スタート部門を除く) 			<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市及び近郊の大学・短大・高等専門学校及び専門学校の学生5名以上で構成する団体 <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市内の高等学校の生徒5名以上で構成する団体
委託料	10万円以下	30万円以下	40万円以下	10万円以下
採用予定数	3事業程度	4事業程度	3事業程度	5事業程度
交付回数上限	1回	3回	2回	2回
申請前の事前相談	①市民活動サポートセンターコーディネーター ②協働を希望する課(任意)	①市民活動サポートセンターコーディネーター(任意) ②協働を希望する課	①市民活動サポートセンターコーディネーター(任意) ②協働を希望する課	①市民活動サポートセンターコーディネーター ②協働を希望する課(任意)

point!

■対象とならない事業

- ①宗教・政治活動を目的とする事業
- ②特定の個人又は団体のみが利益を受けるものや営利を目的としたもの
- ③一度採用された事業
(ただし、新しい工夫や発展性があるものは対象)
- ④既に地域や団体が実施している事業
- ⑤国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受ける事業



協働のまちづくりチャレンジ事業 募集の手引き

point!

2. 「未来共創計画」を押さえましょう

以下の5つの基本方針のいずれかをテーマとした企画を募集しています。

金沢市の委託事業として、「市の事業」として実施することから、**金沢市民に対して効果のある事業**であることが原則です。ただし、金沢市民含め、他自治体にまで広く効果がある事業であって、金沢市を拠点として行う事業等も認められます。

基本方針 ① 世界に誇る 伝統と創造の 文化が息づくまち ～魅力づくり～	基本方針 ② 多様な人々が 共生し、心豊かに 暮らせるまち ～暮らしづくり～	基本方針 ③ 共に学び、 未来を創る人を 育むまち ～人づくり～	基本方針 ④ 創造・変革 により 成長するまち ～仕事づくり～	基本方針 ⑤ 活力と個性があふれ、 安全で 持続可能なまち ～都市づくり～
<p>(1) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術に触れる機会の充実 デジタル技術を生かした文化の共有 文化芸術に携わる多様な主体の活動支援 文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進 など <p>(2) 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の担い手・支え手の育成 金沢町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上 文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上 など <p>(3) まちの品格を高める新たな文化の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造 仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境の創出 スポーツ文化、建築文化、木の文化など多様な文化の振興 など <p>(4) 世界の人々が憧れ滞在しやすくなる都市ブランド力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めしていく機会の充実 歴史と伝統に裏打ちされたほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進 世界が認める食文化と金沢クラフトの発信 来賓者の満足度を高める受入環境の充実・強化と交流の促進 など 	<p>(1) 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による地域コミュニティの活性化 地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進 持続可能なコミュニティを支える基盤の強化 など <p>(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚 人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進 年齢や性別、障害の有無、国籍などに問わず多様性を認め合う共生社会の実現 デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化 など <p>(3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 未病対策の推進と健康を守る環境の整備 医療体制の充実と健康危機管理体制の強化 文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進 など <p>(4) 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進 ごみの減量と資源循環の推進 自然環境の保全と次世代への継承 など 	<p>(1) 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実 すべての子どもの健やかな成長の支援 教育・福祉の連携による総合支援体制の強化 など <p>(2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 特色ある教育モデルの構築と実践 誰一人取り残さない子どもの学びへの支援 魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実 など <p>(3) 学都の強みを生かした次代の担い手育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生のまちへの愛着の醸成 未来を担う若い世代の社会参画の促進 高等教育機関との連携による人材の輩出と学習活動に資する基盤・施設整備 など <p>(4) 学びの文化の形成と情操教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実 生涯を通じて学び続ける環境の整備 文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成 など 	<p>(1) 地域経済をけん引する新たな産業の創出・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> D×G×Hの推進と文化・産業の融合による産業活性化 産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出 起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への支援の充実 金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致 など <p>(2) あらゆる世代の多様な人材の活躍と働き方の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが活躍でき生きがいを感じられる環境の実現 高度な専門知識と技能を有する人材の育成とグローバル化への対応強化 デジタル人材の育成や技能の学び直しによる企業の生産性向上 など <p>(3) にぎわいのある商業環境の形成とものづくり産業の継承・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の要請や住民ニーズに即した多角的な商店街機能の構築 次代を担う産業人材の育成・確保と事業承継への支援 世界を意識した戦略的な市場開拓への支援 金沢の個性である伝統工芸品産業の継承と振興への支援 など <p>(4) 次代につなぐ魅力ある農林水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な担い手の育成・確保と経営基盤の強化 先端技術の活用による生産技術の継承・向上 地元農水産物のブランド力向上と金沢産材の普及促進 豊かな食文化を支える物流環境の整備など 	<p>(1) 魅力あふれる中心市街地の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨格となる都心軸の再興 多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成 居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備 老朽ビルの更新や再開発などによるまちなかの価値向上 など <p>(2) 歴史や自然と調和した都市景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史に培われた景観の保全と創出 無電柱化による良好な景観形成 市民との協働による緑の資産の保全・継承 など <p>(3) 人と活力の還流による地域の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化 外部人材の誘致・活用と地域を担うリーダーの育成 田舎・中山間地域における災害拠点の形成 など <p>(4) 市民生活を支える交通ネットワークの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化 公共交通の利用促進と交通行動の転換 人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実 など <p>(5) 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との協働による安全・安心の確保 都市防災機能の向上と快適な生活環境の形成 都市施設のリニューアルと跡地等の有効活用 デジタル技術の活用や広域連携の強化による行政サービスの充実 など
<p>各分野への横断的視点</p> <p>本市の文化を強みに多様な分野への活用</p> <p>若い世代、民間事業者、移住者など、地域に関わる多様な人々の視点や活力の活用</p> <p>あらゆる分野におけるデジタル化の推進</p>				

自分たちの企画だと、どの基本方針に当てはまるのか？よく考えて、市の施策も調べよう！



3. 審査基準と意識すべきポイント

- ①**公益性** 多くの市民の共感や事業効果が期待できそうか？
- ②**実現性** 実施する過程（スケジュール、場所等）は現実的か？
- ③**発展性** 持続性・波及性や、今後の展開が見込めるか？
- ④**創造性** 他では行われていないようなアイデアやアプローチで、新鮮さ・工夫が見られるか？
- ⑤**協働性** 他団体や地域、行政、企業とのつながりがみえるか？
一般、団体連携部門のみ それぞれの役割が明確であって、協働によって単体で行う場合には見られない、相乗効果が見込めるか？
- ⑥**費用対効果** 積算額が適切で、それに見合った効果のある事業か？

point!

申請書や説明スライドは、左記(1)～(6)が読み取れる、「簡潔・具体的」な作成をこころがけてください。特に、重視されるポイントは「**公益性**」です。

HPには、**プレゼン基礎講座資料**や、過去の採択団体の**発表資料**を公開しています。ぜひ参考にしてみてください。



プレゼン基礎講座の資料は[こちら](#)→



4. 押さえよう!対象経費

明らかに提案事業に係る経費と認められるものに限り、認められます。

対象経費一覧表

経費区分	内 容
謝金	講師(外部講師であって、実施団体の構成員を除く。以下同じ)等への謝金 等 (委託金の概ね1/3以内)
交通費	講師等の旅費、打ち合わせ・事業実施等にかかる交通費(実費相当)
消耗品費	資料、事務用品等の購入費(記念品、手土産代を除く。)
食糧費	事業実施時の講師・ボランティアスタッフ等の軽食(飲料含む)費等(委託金の概ね1/10以内) ※参加費と相殺なら左記の限りではない
印刷製本費	資料、パンフレット等の印刷代 等
通信運搬費	郵送料、宅配料 等
保険料	事業実施のために実施団体が負担する保険料 等
委託料	事業実施のために専門的な技術等を必要とするものであって、団体構成員以外に委託するもの 等 (チラシデザイン、調査委託、ホームページ作成委託等、提案事業のうち主たる業務でないもの)
使用料及び賃借料	会場・施設使用料、駐車場使用料、デジタルライセンス・アカウント等の使用料、備品等の賃借料 等
材料費	成果物作成にかかる材料費、ワークショップ材料費 等
備品購入費	原則お認めしません。ただし、レンタル・リースによりがたい場合のみ委託料の1/10以内の金額について認めます

委託事業は「金沢市の事業」となるため、公益性・公共性が重要視されます。

対象経費表にあてはまるものでも、「使い道が適正か?費用対効果は?」という視点から計上・使用してください。

経費の証拠は「領収書」

提案事業の中間・事業終了時に、経費の証拠となる「領収書」を提出してもらいます。

- ・誰が、誰に
- ・いつ
- ・何のために
- ・いくら(金額)

を確認し、提案事業に関連ある経費かどうか事務局で判断します。事業完了まで大切に保管してください。経費とできるのは、事業採択日以降です。

こんな経費は対象外!

- 提案する事業と直接関わりのない会合の
飲食費などの経費
- 事業と関連の無い団体構成員への食糧費
- 団体構成員に対する人件費
- 備品購入費(委託金の1/10を超える金額)
- 工事費、修繕費 等

point!

採択年数2年目以降は、
「有償ボランティア謝礼」を下記範囲内で
対象経費に含めることができます!

※有償ボランティア謝礼は、社会通念上相当とされる額としてください。

採択2年目	採択3年目～
申請委託費の 20%まで	申請委託費の 30%まで

5. 申請・審査のスケジュールについて

point!

審査員からの質問事項を受けてから説明スライドを作成すると、スケジュールが逼迫します。

先にある程度説明スライドを作成しておき、審査員からの質問内容が来たら、追加記入するよう段取りしておくことをお勧めします。

申請書や説明スライド、
どう作ればいいのかわからない…

金沢市市民活動団体サポートセンターにご相談ください！

申請書の作成ポイント等、ご相談にのります。

HPは[こちら](#)



4月23日(木)には、コーディネーターによる審査会でのプレゼンテーションのコツを伝授するイベントを実施します。

応募フォームは[こちら](#)

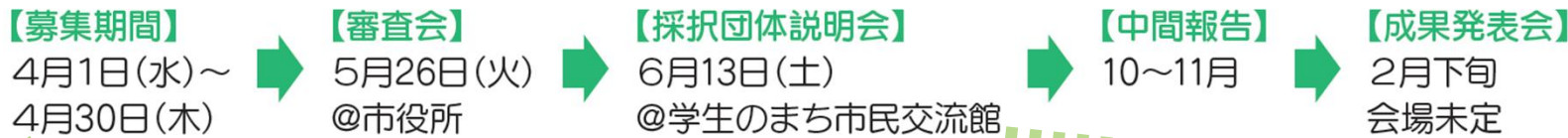
・日時:4月23日(木)
18:00~20:00

・会場:学生まち市民交流館



スタート、一般、団体連携 部門

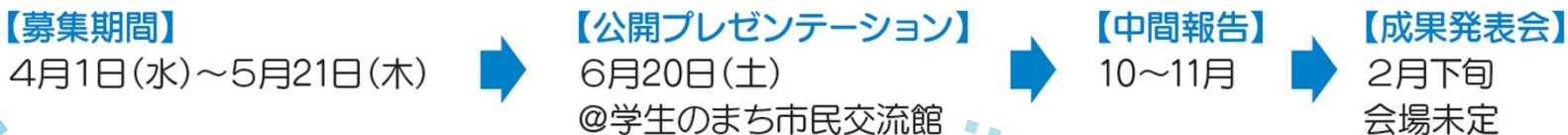
事業実施期間 採択日~3月31日



部門	4/30	5月中旬	5/26	6/13	6/20 (午後)
スタート、一般、団体連携	申請書提出締切 審査員が申請書確認 (~5月中旬)	質問事項送付 …審査員が疑問に思った点などをまとめて事務局から送付します	審査会 …審査員に向けて、説明スライドに基づき、プレゼンしていただきます (※質疑応答有)	説明会 …担当コーディネーターや採択団体同士の顔合わせ、契約に向けての説明 (原則出席)	※ぜひ、学生・高校生部門の公開プレゼンテーションを見学に来てください

学生・高校生 部門

事業実施期間 採択日~2月28日



部門	5/21	6/20 (午後)
学生・高校生	申込フォーム締切 (兼発表資料提出)	公開プレゼンテーション …審査員や参加者に向けて、発表資料に基づき、プレゼンしていただきます

協働のまちづくりチャレンジ事業 申請書の書き方

令和8年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書 記載例

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門
------	--------

※プルダウンから選んでください

【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	〇〇、〇〇
事前相談日	3/28、4/20

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	〇〇課
事前相談日	3/29、4/10

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。(プルダウンになっていない)

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	○
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。(申請者・団体概要をそれぞれ記入要)	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	一度採択された事業ではない。(新しい工夫・発展性が見受けられる場合は対象とする。)	

事前相談が終わってから提出が可能
事前相談の予約はお早めに！

自分の団体・事業が、
部門ごとの応募要件に
すべて当てはまっているか確認

【3】申請者・団体概要

団体の名称	金沢●●の会
団体名称のフリガナ	カナザワ●●ノカイ
代表者	以下に記入してください。
担当者連絡先	以下に記入してください。
構成員	計 15 名
(内訳)	(1) 市内関係者 10 名 (2) その他 5 名
設立年月日(西暦)	2023 年 4 月 1 日 (設立 2 年目)
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料(団体パンフレット、HP等)を併せて提出してください。
(1) 設立の目的	2023年4月に、有志●人が集まり、○○を○○することを目的に発足。代表は○○で××を経験し、市内や地域で■が不足しており、○○の必要性を感じた。その後、○○や●●のメンバーとともに、○○○や××××を実施し、▶▶との連携のもと○○を行い、現在は○○○○のため××している。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	等
(2) 今後の目指していききたいこと	【団体ビジョン】 ○○で、××な社会を実現するため、●●を目指す
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	【団体ミッション】(ビジョンを達成するための手法や手順を記載) 研修会や交流会を実施し、市内や地域に○○を広め、意識向上をはかり●●を醸成することで、継続的な××や○○の広がり提供する
	【今後行っていききたい事等】 ▶▶だけでなく、■とも連携し、今後より広く、かつ定期的に○○を広めていきたい ・○○をテーマにした××研修会 ・単発ではなく、●月に1回実施
	等
活動概要	以下に記入してください。
(1) 主な活動履歴	2023年4月 有志●人が集まり、○○を○○することを目的に発足 2023年10月 ○○研修会実施(講師:●●団体 ○○ ○○氏) ○○のための研修会で、地域の××な人達や▶▶あて実施(参加人数●人) 2024年1月 ○○○をきっかけに、○○○支援を実施 2024年1~5月 ○○○○○を目的に、有志●人が団体に加入、▶▶と事業連携開始 2024年12月 ●●の広がりのため、○○交流会を実施(参加人数●人) 交流会をきっかけに、●人が団体に加入。
(2) 得意分野・活躍できること	これまで○○の普及向上のため、××地域で●●を実施してきた。このノウハウを活かし、■でも貢献できると考えている。 また、▶▶と連携し××××を行っており、■についていくことも想定している。 他、メンバーには△△や●●があり、○○が可能。○○が得意。
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	等
HP,SNSのURL	

団体概要や活動概要は…

- なるべく提案事業につながるように
記載 → 一貫性・継続性アピール
- 申請書は簡潔にわかりやすく記載する
よう心掛ける → 読みやすさ、情報整理

※おおよその目安として、右欄に文字数カウントを置いてあります

※詳しい活動内容や写真は、既存のパンフレット等を添付したり、HPやSNSのURLを記載して工夫してください

協働のまちづくりチャレンジ事業 申請書の書き方

【4】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ 未来共創計画 基本方針一覧
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針1_魅力づくり	(1)誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
基本方針1_魅力づくり	(3)まちの品格を高める新たな文化の創造
協働を希望する課名	〇〇課
企画のタイトル	(例)皆で親しもう！金沢の〇〇を知るプロジェクト
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 <small>(金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)</small>	※わかりやすく、簡潔にご記入ください。 金沢市では、〇〇が…で…であり、…なことに課題がある。特に、…世代に対して… 等
②ねらい・コンセプト <small>(①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)</small>	※わかりやすく、簡潔にご記入ください。 (1)アプローチする方向性、市民への共感度向上 〇〇を対象に、××の時期(時間)に実施する。××の時期(時間)は〇〇にとって■■であり、〇〇〇と連携して周知。併せて●●にも△△することで… 等 (2)特に工夫する点や、協働する意義 地域課題において、特に●×について、当団体は得意としており、〇〇することによって… また、▶との連携を深め、〇〇課とも役割分担して××することで… 等 (3)【他、特記事項】〇〇について …………… 等

スタート部門は任意ですが、事前相談した場合、記載してください。

- ・ 企画名は、正確かつわかりやすい名称で！
- ・ 複数ある場合、【1】〇〇【2】●●と記載

課題設定やターゲットが明確だと、企画の精度があがります！

協働のまちづくりチャレンジ事業 申請書の書き方

<p>③実施内容案</p> <p>年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください！</p> <p>事業スケジュールひな形</p>	<p>実施予定時期: ①令和7年8月下旬、②令和7年10～11月に1回、③令和8年1～2月に1回 計3回</p> <p>対象者(ターゲット): ①〇〇(20名) ②〇〇と●●(40名) ③〇〇と●●(50名) ※①、②の結果を踏まえ、</p> <p>予定場所: 市内〇〇会場を予定(例: ■■■ホール、〇〇公民館、▶会議室 等) ※①のみすでに〇〇公民館</p> <p>実施内容: ①〇〇をひろめる××会 (×××体験を実施。〇〇をターゲットにするので、…を工夫し…) ②……会 (市内講師〇〇〇氏を呼んで、『■■■』について×××。その後、〇〇のため、…) ③……会 (①、②の結果を踏まえ、〇〇をより××するため……)</p> <p>広報・周知の方法: HP、SNSとチラシ、金沢市広報媒体の活用</p> <p>年間事業スケジュール案:</p> <p>年間スケジュール案</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容・準備</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) ニーズ調査</td> <td>事前準備</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 広報・周知</td> <td>事前準備</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) イベント実施 成果発表会</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 振り返り・ 報告書作成</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>他、特記事項: 講義予定講師について 〇〇〇氏は、××学校で〇〇〇〇について……後、〇〇な活動をしており… 詳細は別資料をご確認ください。 等</p>	事業内容・準備	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(1) ニーズ調査	事前準備	●	●	●	●		●					(2) 広報・周知	事前準備	●			●	●		●	●			(3) イベント実施 成果発表会		●				●			●			(4) 振り返り・ 報告書作成		●				●				●	
事業内容・準備	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																		
(1) ニーズ調査	事前準備	●	●	●	●		●																																																						
(2) 広報・周知	事前準備	●			●	●		●	●																																																				
(3) イベント実施 成果発表会		●				●			●																																																				
(4) 振り返り・ 報告書作成		●				●				●																																																			
<p>事業効果</p>	<p>※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。</p>																																																												
<p>期待できる事業効果 (広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)</p>	<p>※わかりやすく、簡潔にご記入ください。 金沢市では、〇〇が……であり、〇〇世代に対して××を持ってもらうことで……。 〇〇課と協働することで、……な相乗効果や、……が向上することが……。 成果として……な……が期待でき、〇〇な社会の実現に■■■する。 等</p>																																																												
<p>その他 特記事項 (今回応募した動機・熱意、本事業を通して何をしたいか 等)</p>	<p>※わかりやすく、簡潔にご記入ください。 (1) 今回応募した動機 チャレンジ事業に取り組み、〇〇課と協働することで、……将来的には…… 等 (2) 本事業で得たいこと ①〇〇の×× ②■■の〇〇〇〇 これらを経験し、挑戦することで、…… 等</p>																																																												

5W1Hを基本に、具体的に事業内容を記入

- ・いつ (●月中、○月上旬、▼月●日 等)
- ・どこで (場所、会場 (●●ホール等))
- ・だれが (ターゲットや参加人数)、
- ・なにを (実施内容)
- ・なぜ (どのような目的・効果を狙って)
- ・どのように (手段は)

事業効果がしっかり検討されていると、説得力が上がります！

point!

書き終わったら、「事業の概要」の内容が、「現状の地域課題」の解決につながっているかを意識して、もう一度全体を読み直しましょう

協働のまちづくりチャレンジ事業 申請書の書き方

【5】事業収支予算書

記載例

申請する委託費 ●●●●●● 円

収入の部 (単位: 円)

科目	金額	内訳など
委託料	●●●●●●	金沢市より
会費	〇〇,〇〇〇	団体会計より
参加費	▲,▲▲▲	1月〇〇会_500円×▲人
計【A】	●〇▲,▲▲▲	

支出の部 (単位: 円)

科目	金額	内訳など
謝金	〇〇,〇〇〇	講師謝礼 ●月〇日分 10,000円×▲人
印刷製本費	〇〇,〇〇〇	チラシ印刷費 50円×〇〇〇〇枚
使用料及び賃借料	〇〇,〇〇〇	会場使用料(〇〇公民館、午後3,500円×1回) (●●ホール)10,000円×▲時間×〇回
消耗品費	●,●●●	〇〇,〇〇〇,〇〇〇〇
交通費	●,●●●	講師送迎費(金沢駅~●●ホール)
通信運搬費	▲,▲▲▲	案内状送付(●●円×▲通)
計【B】	●〇▲,▲▲▲	

事業の内容と科目の整合性がとれているか

事業と直接かかわりのない経費や対象外経費(打ち上げ等の飲食費や常時使う備品購入費)が入っていないか

「金額」の根拠がわかるように、内訳には金額×人数や、日数、部数など、できる限り詳細を記載する

収入と支出の合計額が一致しているか確認

協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会・説明スライドについて

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 説明スライドについて

説明スライドは、「審査基準」を意識し、適宜、団体や活動内容の写真、資料を追加して作成してください。ページ数や様式は自由です。

発表持ち時間：スタート部門 6分 / 一般部門 8分 / 団体連携部門 10分

【審査基準】

- ① **公益性** 多くの市民の共感や事業効果が期待できそうか？
- ② **実現性** 実施する過程（スケジュール、場所等）は現実的か？
- ③ **発展性** 持続性・波及性や、今後の展開が見込めるか？
- ④ **創造性** 他では行われていないようなアイデアやアプローチで、新鮮さ・工夫が見られるか？
- ⑤ **協働性** 他団体や地域、行政、企業とのつながりがみえるか？
一般、団体連携部門のみ それぞれの役割が明確であって、協働によって単体で行う場合には見られない、相乗効果が見込めるか？
- ⑥ **費用対効果** 積算額が適切で、それに合った効果のある事業か？



2. 現状の課題・背景

団体名 部門

- ・団体が考える現状の地域課題・背景

「創造性」に相当します！

- ・解決するために考えたこと

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

5. 事業収支予算

団体名 部門

収入		
科目	予算	摘要
計		

支出		
科目	予算	摘要
計		

「費用対効果」に相当します！

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

団体名
部門
テーマ

企画タイトル

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

3. 企画の概要

団体名 部門

- ・企画のねらい・コンセプト

「公益性」に相当します！

- ・実施方法（予定日時・予定場所・実施形態・予定講師・スケジュール等）

- ・事業効果

「公益性」に相当します！

「実現性」・「協働性」に相当します！
※「協働性」は一般・団体連携部門のみ

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

1. 団体について

団体名 部門

- ・団体の活動概要、PR、構成員（何名、どんな人物か）等

「実現性」に相当します！

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

4. 今後の展望について

団体名 部門

- ・今回の事業を通して、どのように活動の幅を広げていきたいのか

「発展性」に相当します！

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

「審査会・説明スライド」は、審査会での事業説明用として、5月中旬までにご提出いただきます。（様式自由）
発表持ち時間は、部門によって以下のとおりです。

スタート部門 6分 / 一般部門 8分 / 団体連携部門 10分